

# 企業防災だより



職員一人一人の意識が職場の安全に繋がる！

福岡市消防局  
予防部予防課  
令和8年9月

## 今回のテーマ「避難誘導について」

火災や地震が発生した際、建物にいる全員、屋外に逃げてもらえば良いので簡単そうですが、実際にやってみると注意しなければいけないポイントがいくつもあります。実際に訓練しながら、重要なポイントを覚えていきましょう！

### ステップ① 火災発生時の避難誘導の基本

避難誘導は、次の3つのポイントを意識して行いましょう。

#### ① 大きな声で避難を呼びかける



火災です！

避難してください！

落ち着いて行動しましょう！

火災を発見したら、すぐに大きな声で避難を呼びかけます。  
落ち着いて行動するよう呼びかけましょう。  
ハンカチ等で口元を覆い、煙を吸わないよう指示しましょう。



#### ② 安全な避難経路へ誘導する



どこからどこへ避難するか指示しましょう。  
エレベーターは使用せず、煙や危険箇所を避けて避難しましょう。

#### ③ 避難完了後に人数確認を行う



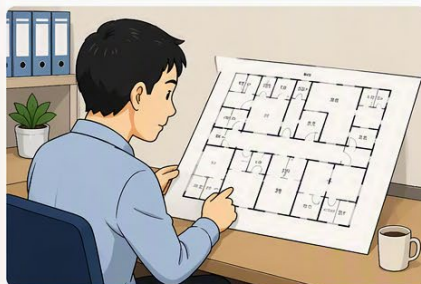
避難場所に集合したら、逃げ遅れた人がいないか確認します。  
負傷者の有無を確認し、必要に応じて消防隊へ情報提供を行いましょう。

### ステップ② 部分訓練をやってみよう

## 職場の避難経路を確認しよう

自席からの避難経路を確認し、実際に歩いて確かめてみましょう。

#### ① 自席から避難経路を確認する



- ☐ 最も近い避難口
- ☐ 階段の位置
- ☐ 避難場所

自席からどのように避難するか確認しましょう。

#### ② 実際に歩いて確認する



- ☐ 避難場所まで歩いてみる
- ☐ 階段の位置を確認する
- ☐ 防火戸の位置を確認する
- ☐ 障害物がないか確認する

避難経路を実際に歩いて確認しましょう。

#### ③ 代替避難経路を考える



いつも使用している経路が使えない場合、どこから避難するか考えてみましょう。

また、避難経路が使用できない場合に備え、一時的に安全を確保できる場所についても確認しておきましょう。

# ステップ③ レベルアップ！

## 自分がいる場所が煙に包まれている！？どうする？



過去、ガソリンなどの危険物を使用した放火火災等により、短時間で煙や炎が広がる事例も発生しています。  
火災は想像以上の速さで進行することを意識しましょう。

### ① 階段が使えない！



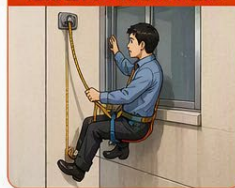
### ② 煙の少ない場所へ移動する



### ③ 一時待避場所へ避難する



避難器具を活用した避難



庇(ひさし)等への避難



※一時待避場所や庇等への避難は、避難経路が断たれた際の最終的な手段の一例です。普段から避難経路や避難できる場所を把握しておくことが重要となります。

## ☆豆知識☆ 知っていますか？防火戸の役割

防火戸、防火シャッターは、火災発生時に煙や煙の広がりを防ぎ、安全な避難経路を確保するための大切な設備です。



防火戸が閉まると、  
普段見慣れた通路とは異なる状況になります。

避難訓練では、防火戸や防火シャッターが  
閉鎖した状態の風景も確認してみましょう。

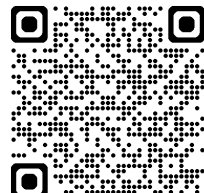
※ 自動火災報知設備と連動している設備もあるため、  
操作や確認を行う際は施設管理者等へ  
事前に確認してください。



### 防火戸、防火シャッターの設置例



さらに、消防局では防火戸の重要性についてわかりやすく解説した動画を作成していますので、ぜひご覧ください。



※本資料のイラストは生成AIを用いて作成しています。(動画の二次元コード)